

1. 回答率

	数	割合
対象者	72	
回答者	38	52.8
無回答者	34	47.2

アンケートは5月20日締め切りで行いました。22日時点で回答者が25名でした。無回答者に再度23日に依頼して、追加で13名、合計38名の回答。なお、電話で白紙回答を伝えた方が1名、回答できない旨を文書で伝えた方が1名いたことも付記しておきます。また、候補者名がなく、不明の回答が1ありましたが、除外しました。

2. 無回答者36名の割合

所属	所属全数	無回答数	無回答者割合/72	所属政党の中の無回答者割合
公明党	3	3	4.2	100.0
自民党	22	15	20.8	68.2
無所属	26	14	19.4	53.8
社大党	4	1	1.4	25.0
民主党	4	1	1.4	25.0
社民党	6	0	0.0	0.0
共産党	6	0	0.0	0.0
そうぞう	1	0	0.0	0.0
	72	34		

3. 回答者36名の各アンケート割合

1. 泡瀬埋立									
選択肢	賛成	反対	その他	その他内訳					
				判断できない	規模縮小	容認可	検討必要	その他	
数	6	23	9	2	1	3	2	1	
割合	15.8	60.5	23.7	5.3	2.6	7.9	5.3	2.6	

2. FTZ									
選択肢	将来性ある	将来性無	その他	その他内訳					
				検討必要	その他利用	分からない	その他	空白	

	数	10	18	9	3	3	1	1	1
	割合	26.3	47.4	23.7	7.9	7.9	2.6	2.6	2.6
3. サコ保全									
	選択肢	止むを得ない	保全すべきである	その他	その他内訳				
					検討必要	分からない	空白	移植	
	数	5	26	7	3	1	2	1	
	割合	13.2	68.4	18.4	7.9	2.6	5.3	2.6	

4. トカゲハセ繁殖期工事									
	選択肢	容認する	専門家意見	その他	その他内訳				
					工事は中止	その他			
	数	3	29	6	4	2			
	割合	7.9	76.3	15.8	10.5	5.3			

5. 今後										
	選択肢	一期二期共に推進	一期容認二期困難	一期中断二期中止	その他	その他内訳				
						一期二期中止	見直し	分からない	論議すべき	その他
	数	4	6	12	16	5	6	2	1	2
	割合	10.5	15.8	31.6	42.1	13.2	15.8	5.3	2.6	5.3

まとめ(前川盛治・泡瀬干潟を守る連絡会事務局長まとめ)

1. 公明党所属予定候補者は全員が無回答であったことは残念であるが、回答者が53%あり、一定評価できるし、分析できる。
2. 泡瀬干潟埋立反対は、約61%であり、賛成の約16%の約3.8倍である。
3. FTZについては、将来性がある、と答えたのは26%、将来性が無い47%のほぼ半分である。検討必要(3名)、その他利用(3名)を加えると、63%が否定的である。泡瀬干潟埋立の合理性の無さを如実に示している。
4. サコが生埋めにされるのに、保全すべき・検討必要・移植の意見が79%あり、止むを得ない、(13%)の6倍である。
事業者の生埋め・工事強行は許されない。
5. トカゲハセの繁殖期の工事については、専門家意見・中止をあわせると、87%になり、批判が圧倒的である。
事業者の工事強行は、猛省されなければならない。
6. 今後については、一期容認二期困難(東門市長態度表明)は僅か16%であり、一期中断二期中止・一期二期中止・見直し

- の61%をみると、東門市長の立場は、支持されていないことが分かる。一期二期とも推進は11%であった。
7. 沖縄市での東門与党の政党の立候補者・回答者18名(社民党6・社大党3・共産党6・民主党3)の東門態度表明支持は、僅か二人(社民)であり、東門市長の態度表明は与党からも支持されていないことが分かる。